

第432回例会(24年9月)報告

東グループ

古川、高田、松本、金子、谷口、  
北村、大西、高舛、高橋

1. 実施日 : 9月16日(月)祝日 敬老の日 天候: 晴れ
2. 参加者 : 26名(敬称略)  
足立、五百井、岩永、浮田、大西、岡田、岸田、木田、北村、熊谷、郡、小瀧、小林、  
清水、高橋、高舛、鶴田、土岐、仁木、西本、平野、藤田、本郷、松本、見方、安平
3. コース : 近鉄奈良駅「行基僧正像」～奈良県庁(エレベーターで屋上で市内眺望)～轟橋の石碑  
・雲井阪の石碑～東大寺の鐘楼～東大寺二月堂横の休憩所(昼食)～浮御堂～大乘  
寺庭園文化館～猿沢池～興福寺～近鉄奈良駅(解散)
4. 概要
  - ・近鉄奈良駅に10時10分集合も、定刻前に全員集合。(近鉄奈良駅電車到着が9時59分なので集合時間を遅らせたが、無用でした。)
  - ・近鉄奈良駅の東口交差点をわたり、東側(奈良公園側)に奈良県庁まで歩く。
  - ・県庁1階のエレベーターに分乗して、屋上へ。
  - ・屋上では、まず東側の展望台で、東大寺大仏殿、若草山(「南都八景」「三笠山雪」)をバックに記念写真撮影。また、屋上からは見えない北側を流れる佐保川で、近年「南都八景」「佐保川の蛍」が見られるようになった経緯説明。
  - ・県庁を離れ、東側の信号を渡り、10数m北の東土手の上にある「南都八景」「轟橋の旅人」、「雲井阪の雨」の石碑を。轟橋は存在せず唯一の石橋の一部(一つだけ)が、石碑前の国道369号線の道路に使用されている。轟橋は、西の平城京から外に出る橋の一つでした。  
又、雲井阪は、古都奈良から京(平安京)に向かう急坂にかかる霧雨の降る情緒ある美しい様を。
  - ・東大寺大仏殿の前を通り、「奈良太郎」と言われた国宝・鐘楼へ。(「南都八景」「東大寺の鐘」)  
写真撮影後、東大寺二月堂横の休憩所にて昼食。休憩所は、他の人も多く、ミーティングは後回し。
  - ・東大寺から、飛火野(古くは春日野と呼ばれた)を通り(「南都八景」「春日野の鹿」)、浮御堂へ。
  - ・浮御堂で休憩、記念写真&ミーティング。
  - ・大乘寺庭園文化館で休憩後、猿沢の池(「南都八景」「猿沢の池の月」)を通り、興福寺へ。
  - ・8つ目の季節はずれであった「南都八景」「南円堂の藤」を確認し、近鉄奈良駅に向かい解散。
  - ・残暑厳しく、休憩を多くとり、なかまち見学は、省略しました。
  - ・幹事不手際(県庁エレベーターの行階指摘ミス、エレベーター降りる階の指摘ミス等)、申し訳ございませんでした。
  - ・暑さ厳しい中、皆様のご協力で、全員無事完歩できたこと、有難うございました。
  - ・解散後、有志15名、中華料理店「上海楼」で反省会。明日への英気を養いました。
5. 下見 : 2名
6. 次回例会 : 10月20日(日) 北グループ担当 JR高槻駅集合 芥川城址(三好山182m)を予定。



奈良県庁屋上にて



東大寺鐘楼



浮御堂にて